

地域経済概況

No.633

2024年 1月



国内経済の動き

●月例経済報告（内閣府）【1月】

《景気判断》➡「このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している」

☞ 総括判断は、前回判断から据え置き

☞ 個別指標においては「輸出」について下方修正し、「消費者物価」に対する見方を「このところ緩やかに上昇している」に改めた

(個人消費)	➡ 持ち直している	(設備投資)	➡ 持ち直しに足踏みがみられる
(輸出)	📉 このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる	(生産)	➡ 持ち直しの兆しがみられる
(企業収益)	➡ 総じてみれば改善している	(企業の業況判断)	➡ 改善している
(雇用情勢)	➡ 改善の動きがみられる	(消費者物価)	➡ このところ緩やかに上昇している

📈…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 📉…前月から下方修正

●生産動向

■鉱工業指数（確報）【11月】
令和2年（2020年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	104.0 (104.0)	▲0.9	107.1 (107.1)	▲1.4
出荷 (速報値)	102.6 (102.5)	▲1.2	105.9 (105.8)	▲1.4
在庫 (速報値)	104.2 (104.3)	+0.0	105.4 (105.5)	+1.0

(経済産業省調べ)

- ☞ 11月の季節調整済指数（前月比）は生産および出荷において低下、在庫において上昇
- ☞ 生産で上昇した業種…生産用機械工業、その他工業、食料品・たばこ工業、ほか2業種
- ☞ 生産で低下した業種…自動車工業、電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業、ほか8業種
- ☞ 製造業生産予測調査によると、12月は前月比+6.0%の上昇、24年1月は同▲7.2%の低下見込み

●新車販売台数

■車種別販売台数【12月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	232,320	+11.1
軽自動車販売台数	130,519	▲3.5

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

- ☞ 12月の普通自動車等販売台数は前年同月比12か月連続の増加、軽自動車販売台数は5か月ぶりの減少
- ☞ 国内新車販売台数（軽自動車を含む）は362,839台（前年同月比+5.4%）で16か月連続の増加

●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【12月】

(店舗調整後)

		売上高 (億円)	前年同月比 (%)
売上高総額		6,465	+5.4
主要5品目	衣料品	1,569	+7.2
	身のまわり品	1,026	+13.9
	雑貨	1,198	+9.4
	家庭用品	199	+0.1
	食料品	2,166	▲0.7

(日本百貨店協会調べ)

- ☞ 12月の売上高は22か月連続の増加
- ☞ 顧客別では、国内市場は前年同月比+1.2%で22か月連続の増加、インバウンドは同+122.6%で21か月連続の増加
- ☞ 地区別では、10都市が前年同月比+7.4%で27か月連続の増加、10都市以外が同▲0.5%で2か月ぶりの減少

■スーパー等大型チェーン【12月】

(店舗調整後)

		販売額 (億円)	前年同月比 (%)
総販売額		13,588	+1.7
部門別	食料品	9,394	+2.4
	衣料品	755	▲8.8
	住関連	2,687	+3.9
	サービス	30	▲9.4
	その他	720	▲2.3

(日本チェーンストア協会調べ)

- ☞ 総販売額は前年同月比で10か月連続の増加
- ☞ 食料品は節約志向から買上点数の減少が続いている中、農産品が相場高の影響もあり堅調に推移し食料品全体では売上は良かった
- ☞ 衣料品は気温高で推移したことから動きが鈍かったが、住関連はまずまずの動きだった

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【11月】

		戸数(戸)	前年同月比(%)
利用関係別	総戸数	66,238	▲8.5
	持家	17,789	▲17.3
	貸家	28,275	▲5.3
	分譲住宅	19,578	▲5.2
	マンション	7,671	▲5.2
	一戸建	11,835	▲4.3

(国土交通省調べ)

11月の総戸数は6か月連続の減少

前年同月比は持家は24か月連続の減少、貸家は4か月連続の減少、分譲住宅は6か月連続の減少、分譲住宅のうち、マンションは2か月ぶりの減少、一戸建住宅は13か月連続の減少

地域別総戸数は首都圏(前年同月比▲0.3%)、中部圏(同▲14.8%)、近畿圏(同▲8.6%)、その他地域(同▲13.8%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【12月】

		受注額(百万円)	前年同月比(%)
利用関係別	受注総額	126,573	▲9.9
	内需	37,831	▲10.5
	外需	88,742	▲9.7

(日本工作機械工業会調べ)

12月の受注総額は12か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を35か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【12月】

		倒産件数	負債総額
		810件	1,032億円
前月比		+0.3%	+8.8%
前年同月比		+33.6%	+30.3%

(東京商工リサーチ調べ)

倒産件数は21か月連続で前年同月を上回り、2023年では最多件数となった

負債総額は2か月ぶりに前年同月を上回った

新型コロナウイルス関連倒産は250件発生

県内経済の動き

●県内の経済情勢(財務省関東財務局長野財務事務所)【1月】

《総括判断》➡「持ち直している」

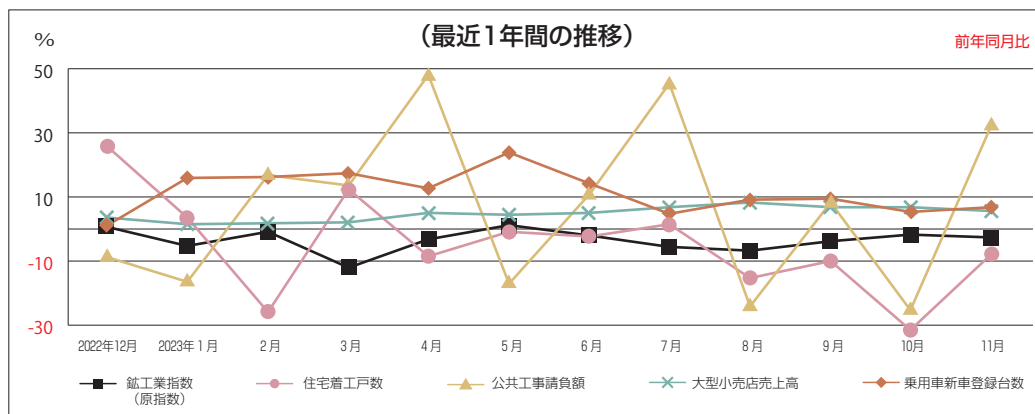
総括判断は、前回(2023年10月)判断を据え置き

個別の判断は「雇用情勢」について「足踏みの状況にある」とし、前回判断から下方修正

(個人消費) ➡ 緩やかに回復しつつある	(生産活動) ➡ 緩やかに持ち直しつつある
(雇用情勢) 📉 足踏みの状況にある	(設備投資) ➡ 5年度は増加見込みとなっている
(企業収益) ➡ 5年度は減益見込みとなっている	(住宅建設) ➡ 前年を下回っている

📈…前回から上方修正 ➡…前回判断を据置 📉…前回から下方修正

県内主要経済統計の推移



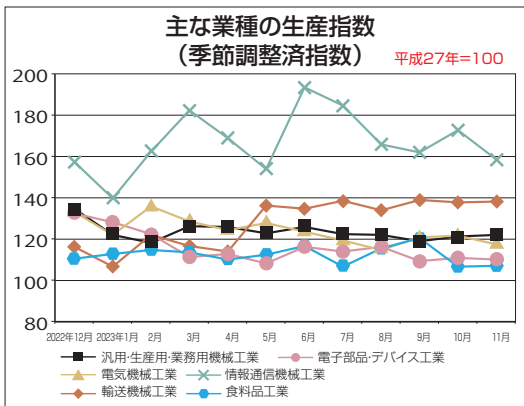
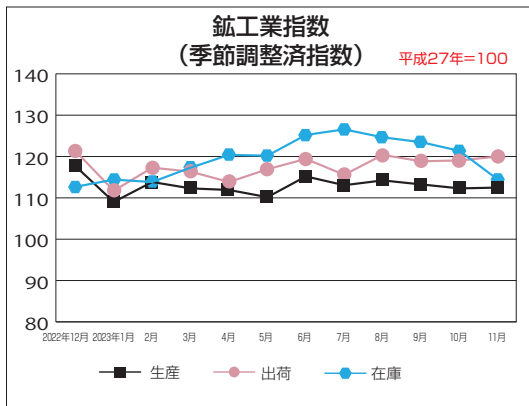
県内の産業動向

製造業

■鉱工業指数（速報）【11月】 平成27年（2015年）= 100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (前月確報)	112.5 (112.3)	+0.2 (▲0.8)	115.1 (115.2)	▲2.7 (▲1.7)
出荷 (前月確報)	120.1 (119.1)	+0.8 (+0.2)	120.2 (120.2)	▲3.4 (▲2.3)
在庫 (前月確報)	114.5 (121.4)	▲5.7 (▲1.7)	118.2 (120.9)	+2.2 (+5.1)

- 前月比（季節調整済指数）で、生産は3か月ぶりの上昇、出荷は2か月連続の上昇、在庫は4か月連続の低下
- 前年同月比（原指数）で、生産は6か月連続の低下、出荷は11か月連続の低下、在庫は9か月連続の上昇
- 生産で上昇した業種…化学工業、汎用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業ほか4業種
- 生産で低下した業種…情報通信機械工業、電気機械工業、プラスチック製品工業ほか7業種



(経済産業省、長野県企画振興部調べ)

建設業

■新設住宅着工戸数【11月】

		戸数 (戸)	前年同月比 (%)
住宅着工戸数		943	▲7.8
利用関係別	持家	463	▲20.0
	貸家	305	+3.4
	給与	5	▲58.3
	分譲	170	+24.1

(長野県建設部調べ)

- 住宅着工戸数全体は4か月連続で前年同月を下回った
- 利用関係別では、持家は4か月連続減少、貸家は2か月ぶりの増加、分譲は5か月ぶりの増加

■公共工事動向【12月】

	件数 (件)	請負金額 (百万円)
国	7	507
独立行政法人	4	412
県	95	2,388
市町村	117	4,130
地方公社	2	66
その他	4	477
合計	229	7,984

(東日本建設業保証調べ)

- 12月の請負件数は前年同月+13件、請負金額は同▲30.8%であった。また、請負金額の発注者別では市町村（前年同月比+64.6%）、その他（同+458.5%）で前年同月を上回り、国（同▲72.3%）、独立行政法人（同▲88.2%）、県（同▲30.6%）、地方公社（同▲57.9%）で前年同月を下回った

小売業

■自動車登録台数【12月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車登録台数	3,950	+8.5
軽自動車登録台数	3,471	▲3.6
全体（二輪車を除く）	7,421	+2.5
自動車保有台数	1,897,624	+0.3

(北陸信越運輸局長野運輸支局調べ)

- 登録車は12か月連続で増加、軽自動車は2か月ぶりに減少、全体では16か月連続で増加
- 2023年12月末時点における自動車保有台数内訳…登録車949,152台（前年同月比▲0.2%）、軽自動車910,205台（同+0.8%）、二輪車38,267台（同+2.2%）

■大型小売店売上高【11月】

		売上高 (百万円)	前年同月比 (%)
総売上高		21,853	+5.4
内訳	食料品	18,596	+6.4
	衣料品	1,175	▲2.0
	雑貨・その他	2,081	+1.8

(長野経済研究所調べ)

- 総売上高は26か月連続で前年同月を上回った
- 食料品は、生鮮食品や総菜などの売り上げが増加したほか、販売価格の上昇などもあり前年同月を上回った
- 衣料品は、冬物の出足が鈍く前年同月を下回り、雑貨・その他は、化粧品などが堅調だった

県内の雇用情勢

■月間有効求人倍率【11月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.38倍	▲0.03pt
全国	1.28倍	▲0.02pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

■新規求人数【11月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	15,079人	▲14.4%

(長野労働局調べ)

■新規求職者数【11月】 (実数値)

	新規求職者	前年同月比
全数	6,216人	+4.1%

(長野労働局調べ)

☞ 全国平均を0.10ポイント上回り、全国順位は14位と堅調な推移が続く

☞ 有効求人数(季節調整値)は44,589人で前月比▲1.7%の減少、有効求職者数は32,240人で同+0.6%の増加

☞ 総括判断「雇用情勢は、堅調に推移している。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

☞ 前年同月比で増加した業種…金融・保険業

☞ 前年同月比で減少した業種…建設業、製造業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業など

☞ 全数のうち常用は3,765人(前年同月比+5.7%)、パートは2,240人(同+1.5%)

県内の倒産状況

■企業倒産整理状況【12月】

	倒産件数	負債総額
	5件	1,181百万円
前月比	+66.6%	+136.6%
前年同月比	▲16.6%	+64.2%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 地域別では中信が2件、南信が3件、東信、北信はそれぞれ0件

☞ 業種別では飲食料品卸売業が1件、織物・衣服・身の回り品小売業が1件、情報サービス・制作業が2件、飲食業が1件

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は3件

編集後記 地域とともに歩む銀行 ～地域に向けた長野銀行の取組み～

長野経済研究所からの新入社員研修のご案内

◆開催日程◆ ※時間はいずれも 13:00～16:30です

地区	開催日	開催場所	地区	開催日	開催場所
長野	4月1日(月)	ホテル信濃路 Tel:026-226-5212	松本	4月3日(水)	ホテルブエナビスタ Tel:0263-37-0111
	4月2日(火)			諏訪	4月10日(水)
	4月5日(金)		伊那		4月9日(火)
	4月11日(木)			飯田	4月12日(金)
上田	4月4日(木)	上田東急 REI ホテル Tel:0268-24-0109			

◆内容◆

- | | |
|--|--|
| <p>1. 社会人としての心構え</p> <p>2. 仕事の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の進め方 報告・連絡・相談 <p>3. 自己啓発と自己管理</p> | <p>4. ビジネスマナーの基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみと態度 ・電話応対 ・挨拶と言葉づかい ・来客応対 ・ビジネス文書 |
|--|--|

■申込方法：長野経済研究所ホームページ (<http://www.neri.or.jp>) よりお申し込みください

■受講料 マネジメント会員：4,400円 一般会員：6,600円 会員以外：11,000円
(※テキスト『新入社員ハンドブック』代、消費税を含みます)

●お問合せ 一般財団法人 長野経済研究所 〒380-0936 長野市岡田 178-13 八十二別館
TEL：026-224-0502/0501 FAX：026-224-6233 URL：http://www.neri.or.jp